

第一回日韓共同ASPワークショップ開催 2006年11月23日

～ASPの国際的な協力体制確立を目指すイニシアティブ～

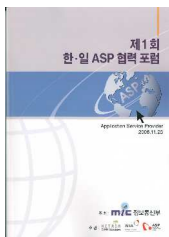
日本におけるASP推進と普及を目的とした特定非営利活動法人ASPインダストリ・コンソーシアム・ジャパン(略称:ASPICジャパン、東京都港区港南、会長:河合輝欣)は、11月23日韓国ソウル市において「日韓共同ASPワークショップ」を韓国ITレンタル産業協会と共同開催しました。今回のワークショップは日本におけるASP推進活動をしてきたASPICジャパンが、今後海外の事業者とも連携してASP事業推進展開を支援する活動のマイルストーンとなるものです。

第一回目として、韓国との情報・意見交換を行い、共同宣言文を発表しました。これにより日韓のASP利用による政府・民間レベルでのASP事業推進にむけて大きな足跡となるでしょう。

日韓のASP関係者約80名が集まり、日韓共同ASPワークショップでは、日韓のASP市場の現状報告と情報交換、各国成功事例及び課題討議、日韓ASPの今後の協力 両国政府関係者出席、記者発表などを通してASPICの社会的認知度の向上 ASPプラットフォーム・データセンタなどで韓国業者とのアライアンス機会確立 健全な情報化社会構築のため、SLA(Service Level Agreement)の提言などの内容について活発に意見交換がされました。

ワークショップには、総務省および韓国情報省からゲストスピーカーが参加し基調講演を行いました。パネルディスカッションでは韓国情報通信大学コンピュータサイエンス学部教授 Kwak Duk Hoon 氏がモデレータを務め、ASPICジャパンおよび韓国ITレンタル産業協会のメンバーがパネラーとして討論しました。

ASPICジャパン会長の河合輝欣は「ASPICジャパンが今まで行ってきたASPを利用した社会情報基盤整備推進というミッションが、これを機会に海外へと駒を進めたことを喜ばしく思います。今年の韓国との成功をばねに、来年はさらに規模を世界へと広げ、日本のイニシアティブによるASP利用型産業の発展を支援していきたい」と語っています。



日韓共同ASPワークショップ共同宣言文に調印したASPICジャパン会長 河合輝欣(右)とKITRIAメンバー企業KT副社長 Lee San Hoon氏(左) (11月23日ソウル市内ホテルにて)